

支援を関和成さんへ感謝状

東日本大震災時、愛好会「専修走好会」(大貫知成代表・経営3)のメンバーを支援した関和成さんに7月14日、阿藤正道学生部長から感謝状が贈られた。同会は関東大学陸上競技クラブ連盟に所属。12月の大会で「困り、練習に励んでいない」と様子を見に来た関和成さんは、関と出会った。関さんは11日、御宿セミナーへメンバーセミナーを自宅に招き、一部屋を提供。お

ル木管五重奏ミニコンサート の生田アトリウムで



●県立座間総合高校
「在県外国籍生徒と留学生のランチミーティング」
神奈川県立座間総合高校の在県外国籍生徒とのランチミーティングが7月19日、生田キャンパス

●司書インターインシップ
で行われた。中国、韓国、メキシコ、ベトナム、フィリピンから6人の生徒が参加。専大の留学生8名とランチを楽しめ交流

高大連携協定校との連携活動が行われ、一日体験入学者や在県外国籍生徒と本学生との交流、司書インターンシップが実施された。



▲ 演奏する五嶋みどりさん

五嶋みどりさんを存じですか? 彼女は世界的に活躍しているバイオニストです。活動の幅は広く、演奏以外に、自分が起こしたミュージックも行っています。

6月6日、東京銀座・王子ホールで私たち山田ゼミ(文学部人文・ジャーナリズム学科、山田健太准教授のテーマ学習ゼミ)5人は、ゼミ活動の一環としてその団体のラオスでの活動報告会を兼ねたプレス用のコンサートに参加しました。

若手演奏家の一人、ヘレナ・ベイリーさん(ビオラ)は「私たちが音楽をプレゼントーションしたら、ラオスの子どもたちが一生懸命踊りを披露してくれ、音楽での交歓ができた」と語ってくれました。

五嶋さんの活動は、演奏を聴かせるだけではなく、子どもたちに楽器を教えたり、逆に伝統音楽を教わったりと、交流が展開されます。「多くの人たちとコミュニケーションを取ること」が音楽でした。

7月14日、生田キャンパスに神奈川県立百合ヶ丘高校1年生280人が訪れ、大学紹介ビデオを鑑賞のち吉田雅明経済学部教授の模擬授業「教科」で組織する「H-i-YO-COの会」学生が引率してキャンパス見学を行った。

人文・ジャーナリズム学科 山田健太ゼミが取材

音楽で社会貢献する

寄稿・山崎瀬奈さん(文4)

五嶋みどりさん自身も彼から影響を受けている。五嶋さんは中心とする、蜘蛛の糸のような連綿とした、しかし強固なつながりを感じました。

五嶋さんの活動は、演奏を聴かせるだけではなく、子どもたちに楽器を教えたり、逆に伝統音楽を教わったりと、交流が展開されます。吉田経済学部教授の模擬授業をする嶺井経営学部教授

高大連携活動発表会

高大連携協定校との連携活動が行われ、一日体験入学者や在県外国籍生徒と本学生との交流、司書インターンシップが実施された。

●都立大田桜台高校
「一日体験入学」
7月15日、生田キャンパスに都立大田桜台高校

2年生134人が来訪。嶺井正也経営学部教授「PISA2009を考える」の模擬授業を受け、キャンパス見学を行った。



若手演奏家と共に

吉田経済学部教授の模擬授業

●県立百合ヶ丘高校
「一日体験入学」
7月15日、生田キャンパスに都立大田桜台高校

2年生134人が来訪。嶺井正也経営学部教授「PISA2009を考える」の模擬授業を受け、キャンパス見学を行った。

模擬授業をする嶺井経営学部教授